

## 「第18回日本語スピーチコンテスト」開催

2017年5月24日北海道・サハリン州政府・サハリン国立総合大学主催の「第18回日本語スピーチコンテスト」が同大学にて開催された。コンテストは「一般・大学生の部」と「児童・生徒の部」の二部門に分けて行われ、計18名（一般・大学生の部11名、児童・生徒の部7名）が参加した。

「児童・生徒の部」ではユジノサハリンスク市内のシュコーラ・ギムナジアから8歳～17歳までの生徒が制限時間3分で日本語によるスピーチを行い、好きな楽器や日本語学習、環境についてなど多岐に渡るテーマで会場を盛り上げた。力強いジェスチャーで自然保護の大切さを訴えたコルネワ・オクサナさん（ギムナジア9年生、テーマ「自然を守ることは大切です」）が優勝した。

「一般・大学生の部」ではサハリン国立総合大学より7名、日本センターの受講生4名（一般）が参加した。制限時間は5分でスピーチ後に発表内容についての質疑応答も行われた。今回は例年以上に一般からの参加が多く、自作の俳句を披露する方や、日本のおもてなしについて語る方など個性豊かなテーマが目立った。大学生も趣味や夢、伝統音楽についてなど様々なテーマで発表を行った。優勝者は、将来ユジノサハリンスク市長になりたいと自身の夢を語ったイワノフ・アレクセイさん（サハリン総合大学2年、テーマ「私の夢」）で、アレクセイさんは今後更なる日本語能力の向上のため日本への長期留学を計画しているとのこと。スピーチ発表以外にもユジノ市内の幼稚園児による演劇が行われ会場を賑わせていた。

このスピーチコンテストには、これまで100名以上が参加し、過去の参加者が通訳や日本と関わりのある仕事に就いていることも珍しくない。今後もこのコンテストが北海道とサハリンの友好関係を深め、また両地域の架け橋となるような人材を生むきっかけとなることを期待したい。



【一般・大学生の部優勝のアレクセイさん】



【児童・生徒の部優勝のオクサナさん】



【幼稚園児への賞状贈呈式】



【集合写真】